

川畑満里子さん『CODA（コーダ）』（7月27日配信）

川畑です。よろしくお願いします。

今日は、娘の話をします。

2人いて、上が4歳、下が0歳です。2人とも聴者でCODA（コーダ）です。ろう者の親から生まれた聴者の子どものことをコーダと言います。手話ではこのように表します。

上の娘は今4歳ですが、初めて手話を使ったのは生後10か月の時でした。もう保育園に通っていたので、保育園から帰る時には娘を抱っこして歩きながら、通り道の線路の高架下トンネルにある照明のことを娘に手話で話しかけていました。するとある時娘が、私の出す手話と手の形は少し違いましたが、こんな手話で照明を表したんです。保育園からの帰り、その高架下を通るたびにその手話を出すので感心しました。

そんな娘も4歳になり、女の子ということもあっておしゃべりなので、私はいつも聞き役です。

下の娘は今9か月です。手話はまだ出てきません。でも、面白いのは、私たち夫婦はろう者で、上の子どもは家での会話は手話です。その様子を娘が見ているからなのか、私が娘の肩を叩いたり、手を振ったりして娘を呼ぶとちゃんところらを見るんです。ろう者と生活をしていると0歳の娘にもちゃんとうろう文化が身についていくんだなあと思いました。